

	ねらい	主な学習活動	評価規準	子どものつまずきに対する 主な指導・援助
1	身の回りにある物を使って、いろいろな音の出し方を工夫することができる。	<p>すきな音をあつめよう</p> <p>身の回りの物を使っていろいろな音を鳴らそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音を聴いて物当てクイズをする。 空き缶を使って、いろいろな音の出し方を工夫する。（たたく・こする・ふる） 自分の身の回りの物から、いろいろな音を見つけて発表する。 	<p>意欲・関心・態度</p> <p>いろいろな音に関心をもち、進んで音を探ることができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>いろいろな音に関心をもちることができない。</p> <p>評価</p> <p>音遊びの様子</p> <p>指導・援助</p> <p>素材の異なる空き缶やばち類、中に入れる物などをできるだけたくさん準備しておく。友達の発表からヒントがもらえるようにする。</p>
2	曲の気分を感じ取って、楽しく歌ったり、身体表現をすることができる。	<p>かぼちゃ</p> <p>かぼちゃを運ぶ様子を思いうかべて歌で表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容について話し合う。 グループごとに挿し絵を見たり、歌詞の内容を考えたりして、歌い方を工夫する。 グループごとに発表をする。 	<p>意欲・関心・態度</p> <p>曲の気分を感じ取って、友だちと楽しく歌うことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>楽しんで歌うことができない。</p> <p>評価</p> <p>練習の様子</p> <p>指導・援助</p> <p>動作を入れ、大きなかぼちゃを1人から7人で運ぶことを実際にやってみながら歌い興味・関心が持てるようにする。</p>
3	拍の流れに乗って、手拍子や打楽器でリズム打ちをすることができる。	<p>かぼちゃの歌に合わせてリズム打ちをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 範唱CDに合わせて、手拍子でリズム打ちをする。 リズム楽器を使い、楽器の奏法を確認しながら、リズム打ちをする。 	<p>表現の技能</p> <p>2拍子のリズムに乗って、リズムを打つことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>基本的な奏法ができない。</p> <p>評価</p> <p>フレーズごとの分担奏練習の様子</p> <p>指導・援助</p> <p>正しい奏法を示したり、テンポをゆっくり落として練習する。</p>
4	音の組み合わせを工夫して、歌に合わせてリズムを打つことができる。	<p>音を組み合わせ、かぼちゃを運ぶ様子を表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに音の組み合わせ方を工夫する。 パートの役割を考えて、楽器を選び、パートごとに分かれて練習する。 組み合わせた楽器を入れ、全体を通して演奏する。 グループごとに発表する。 	<p>感受・表現の工夫</p> <p>音や楽器の組み合わせを工夫し、歌に合わせてリズムを打つことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>パートにふさわしい楽器を選ぶことができない。</p> <p>評価</p> <p>ワークシート</p> <p>指導・援助</p> <p>それぞれのパートの役割について押さえるとともに、「主旋律」「リズム楽器」など、ふさわしい楽器に気づかせる。</p>
5	歌詞の表す情景を思い浮かべながら、歌い方を工夫することができる。	<p>虫のこえ</p> <p>秋の夜の様子を思いうかべて楽しく歌おう。</p> <p>虫の鳴き声をまねて、分担唱をする。 あれまつむしが ないている チンチロチンチロ チンチロリン あきのよながを なきとおす 全員 ああ おもしろい むしのこえ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を通して歌う。 	<p>感受・表現の工夫</p> <p>様子を思いうかべて歌ったり、分担した部分を楽しんで歌うことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>基本的な奏法ができない。</p> <p>評価</p> <p>ペア練習の様子</p> <p>指導・援助</p> <p>正しい奏法を示したり、テンポをゆっくり落として練習する。</p>

6	きれいな音の響きで旋律を鍵盤ハーモニカで演奏することができる。	<p>虫の鳴き声のようなきれいな音で旋律を演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CDにあわせて歌う。 • 階名模唱・階名暗唱をする。 • 交互奏をする。 • 全体を通して演奏をする。 	<p>表現の技能 鍵盤ハーモニカで演奏することができる。</p>	<p>つまずきの様相 基本的な奏法ができない。 評価 ペア練習の様子 指導・援助 正しい奏法を示したり、テンポをゆっくり落として練習する。</p>
7	秋の虫たちの鳴き声に近づくように音の強弱の変化に気付いて、楽器の奏法を工夫することができる。	<p>「遠くで聞こえる虫の声」と「近くで聞こえる虫の声」を工夫して表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CDに合わせて歌う。 • ペアで「遠くの声」と「近くの声」の役に分かれて友達と音の出し方や長さについて工夫する。 • 工夫した音を比較して聴き合う。 • 仲間の工夫した虫の声の発表を聴く。 	<p>感受・表現の工夫 音の大きさの変化を、イメージした音で表す工夫をしている。</p>	<p>つまずきの様相 音の大きさの変化を表すことができない。 評価 ペア練習の様子 指導・援助 音の強弱を対比させ、楽器の打ち方、ばちの選び方も関係することを、実際に示して気付かせる。</p>
8	いろいろな楽器を加えて、合唱奏をすることができる。	<p>歌と楽器で夜の虫の世界を表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 範唱CDに合わせて歌う。 • 旋律パート、虫の声パートに分かれて練習をする。 • 全体で合わせる。 	<p>表現の技能 音の重なり合いを感じて演奏することができる。</p>	<p>つまずきの様相 基本的な奏法ができない。 評価 グループ練習の様子 指導・援助 正しい奏法を示したり、テンポをゆっくりおとしたりして、練習する。</p>
9	拍の流れを感じ取ったり、楽曲に使われている楽器の音色について聴くことができる。	<p>かじ屋のポルカ</p> <p>かじ屋さんの様子を思いうかべて聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CDを聴いて、かじ屋の町の人たちの様子について話し合う。 • 拍の流れを感じながら、手拍子や身体表現をして聴く。 • 音楽に合わせて片足でジャンプをする。 	<p>鑑賞の能力 リズム打ちをしたり、旋律の繰り返しや変化に気付いて聴いたりすることができる。</p>	<p>つまずきの様相 楽器の音色や旋律の変化に気付くことができない。 評価 ワークシート 指導・援助 旋律の部分を繰り返し聴かせたり、実際に使われている楽器の音をいくつか準備し聴かせ、楽器の音色のちがいに気付かせる。</p>
10	2拍子(タンやタタ)のリズムを感じ取って、楽しく身体表現をしながら歌うことができる。	<p>山のポルカ</p> <p>ポルカに合わせて楽しく歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CDを聴いて、情景を想像する。 • ポルカを踊っているVTRを見て、まねて踊る。 • 伴奏に合わせて身体表現をしながら歌う。 • みんなで輪になって踊りながら歌う。 	<p>意欲・関心・態度 ポルカの踊りの雰囲気を感じ取り、楽しく踊りのステップをしながら歌うことができる。</p>	<p>つまずきの様相 ポルカの雰囲気を感じ取ることができない。 評価 身体表現の様子。 指導・援助 ポルカを踊っている様子のビデオや写真を準備するとともに、仲間や教師と一緒に踊る。</p>
11	拍の流れに乗って旋律を鍵盤ハーモニカで演奏することができる。	<p>鍵盤ハーモニカで旋律を演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> • CDに合わせて階名唱をする。 • 4つのフレーズをグループ内で交代しながら演奏する。 • グループごとにリレー奏をする。 • ペアグループを作り、交互奏をする。 • 全体を通して演奏する。 	<p>表現の技能 3フレーズで鍵盤ハーモニカの指のポジション移動がスムーズにできる。</p>	<p>つまずきの様相 基本的な奏法ができない。 評価 グループ練習の様子 指導・援助 正しい奏法を示したり、テンポをゆっくり落として練習する。</p>
12	リズム楽器の組み合わせを工夫して、バッテリー奏をすることができる。	<p>楽器のバランスを工夫して、演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リズム伴奏のリズムを演奏する。 	<p>感受・表現の工夫 2拍子の拍の流れに乗ってタンを正しく感じて、タタが打つことができる。</p>	<p>つまずきの様相 バッテリーリズムで、自分のリズムが正確に打つことができない。 評価 練習の様子</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 手拍子と膝打ちのグループに分かれて、バッテリー奏をする。 楽器でリズム伴奏の工夫をする。 グループごとに楽器の組み合わせを考えて演奏する。 		<u>指導・援助</u> リズムがずれないように、2拍子の拍打ちを行い、つなげてリズムが打てるように繰り返し練習をしたり、中間研究会で、仲間の練習方法でよい点を真似したりすることによって、歌とぴたり合わせて演奏することができるようにする。
1 3	2拍子の拍の流れに乗って、楽器でリズム伴奏を加えて、山のポルカを楽しく歌うことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">リズム楽器を使ったリズム伴奏を加えて楽しく歌おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて歌う。 手拍子で歌に合わせてリズム伴奏のリズムを打つ。 グループごとに楽器を選んで、リズム伴奏の練習をする。 リズム伴奏を加えて歌う。 	<u>表現の技能</u> リズムに合った楽器を選んで歌と合わせて演奏することができる。	<u>つまずきの様相</u> 歌とリズム伴奏を合わせることができない。 <u>評価</u> グループ練習の様子 <u>指導・援助</u> 歌を歌いながら2拍子の拍打ちを横で行い、リズム伴奏が合わせられるようにする。
1 4	2拍子の拍の流れに乗って、鍵盤ハーモニカとリズム伴奏を合わせて演奏することができる。	ポルカのリズムに乗って、歌や鍵盤ハーモニカで演奏しよう。 <ul style="list-style-type: none"> 各パートに分かれて練習をする。 全体を通して練習をする。 全体を通して合唱奏をする。 	<u>表現の技能</u> 各フレーズの出だしをそろえて、歌とリズム伴奏を合わせることができる。	<u>つまずきの様相</u> 各フレーズの出だしをそろえることができない。 <u>評価</u> 練習の様子 <u>指導・援助</u> 出だしがずれないように、2拍子の拍打ちを行い、つなげてリズムが打てるように繰り返し練習をしたり、中間研究会で、仲間の練習方法でよい点を真似したりすることによって、歌とぴたり合わせて演奏することができるようにする。